



令和5年10月17日

国土交通大学校

TEC-FORCE〔班長・リエゾン〕研修

自治体からも研修員を募集します！【集合研修】

首都直下地震や南海トラフ地震など今後発生が想定される大規模災害に対して、広域的かつ機動的な危機管理体制の確保が必要です。

この研修では、災害時に TEC-FORCE 隊員として、被災自治体を支援するための防災に関する幅広い知識の修得と、他の防災関係機関と連携し的確に対応するための能力を向上させることを目的としています。また、本研修では、受援側の自治体からも研修員を募集します。

警察や消防など現地での連携が想定される関係機関の講師からの講義に加え、演習では、現場での活動時に限られた情報等の中で判断する力等を養成するため、ケースメソッド手法を用いて、自らの疑似体験とすることにより、自らの判断する力を育み、災害対応マネジメント力を培うことができます。

■研修内容

- ① TEC-FORCE を含む関係機関の活動内容等の理解、総合的な知識の修得
- ② ケースメソッド手法を用いた災害対応マネジメント演習による災害時の対応能力の向上

■対象者（定員25名）

国土交通省、内閣府沖縄総合事務局、都道府県、政令指定都市、特別区、市町村の技術系職員で地方整備局等の課長補佐、事務所の課長又はこれと同等の職にあると認められる者

■研修期間・場所・経費

期間：

(Ⅱ期) 令和6年 2月 5日(月)～ 2月 8日(木) 4日間

場所：国土交通大学校

テキスト代(予定) 18,000円(いずれも税込み)

■募集期間 令和5年11月21日(火)まで

研修風景



募集状況については、国土交通大学校ホームページにも掲載しておりますので、ご覧ください。

(<https://www.col.mlit.go.jp/>)

■令和4年度研修参加者の声（概要）

- TEC-FORCE 隊員として求められる知識の習得を行えた。特に被災自治体が TEC-FORCE に求める事、ともに被災現場で活動する警察、自衛隊、消防の各機関の役割を確認できたことは有意義であった。(国交省職員)
- 実際の被災地への派遣に基づいた班長としての活動に必要な知見のほか、受援自治体からみた TEC-FORCE 活動に対する期待を知る機会となった。(国交省職員)

問い合わせ先：

国土交通大学校 建設部

建設企画科 科長 赤道

直通 :042-321-0645

Mail : col-kensetsu1@gxb.mlit.go.jp